

第2回 授業のUD研究 東海支部大会アンケートの集約

第1部、西野町小学校の実践報告についての感想・意見や反省点

(重複しているものは支部の責任でまとめさせていただきました)

- ・具体例を聞くことができよかった。
- ・すぐに実践できそうなことがあり、とても参考になった。
- ・学習環境作りや授業作りのポイントがよくわかった。

- ・何気なく児童をみて対応していたことの一つ一つを、論理的にまとめていただけたような気がしました。
- ・子ども自身に自信をもたせ、より意欲的に取り組もうとする気持ちを育てる授業実践であると実感しました。

- ・教師の意識のレベルの高さに感服しました。
- ・具体的な実践例を聞き、自分も自信をもって今後取り組んでいけると確信しました。
- ・授業の焦点化が難しいことは実感しています。
- ・2月2日の授業公開ぜひ参加したいです。
- ・子供の様子が映像で見たかった。

- ・自校での研修テーマとのギャップもあり、どのように取り組むべきか思案したいと思いました。
- ・学校全体で取り組んでいるところがすごいと思うし、全体で取り組まないとUDの効果も上がらないのではないかと思う。
- ・西野町小学校での発表ではないので、学校紹介の部分はカットされて、実践部分の事をもっと重点的にお聞きしたかったです。

第2部、川上康則先生の講演についての感想・意見や反省点

(重複しているものは支部の責任でまとめさせていただきました)

- ・“先生がその子をどう見ているのか”を子どもは敏感に見ているという言葉が印象に残りました。
 - ・川上先生の優しい口調や温かい人柄にふれることができ、心にすっと内容が入ってきました。
 - ・「持ち味をいかす」「共感をテーマにした学級づくり」「障害という整理ではなく、理解の幅を広げる」というところが大変勉強になりました。
-
- ・できる部分を増やして、相対的に問題となる場面を少なくなるような指導方法に感動しました。
 - ・具体的な学級経営の実践例を教えてください、すぐにでも試してみたいと思いました。
 - ・具体物(資料・写真・絵)を提示しながらのお話であり、これがUDだと思いました。
 - ・ポジティブな表現方法をたくさん教えてください、子どもに対して、より前向きに向かい合いたいと思いました。「ほめる」だけでなく「認める」「励ます」をも含めて肯定的に対応することの素晴らしさを再認識することができました。
-
- ・論理的に指導方法を教えてください、学問的に後押ししていただけると、学童保育の指導にも自信をもって臨めそうです。ありがとうございます。
 - ・対比の例示が多くわかりやすかった。
 - ・日常的な子どもの顔が浮かんできて、より身近に感じることができた。
 - ・なぜ姿勢が悪くなるのかということが良くわかりました。
 - ・クラスの児童のこと(低緊張)で悩んでいたところだったので、来てよかった！と思いました。
-
- ・もっと子どもの良いところに目を向けたい。
 - ・子どもの見方がかわった。
 - ・子どもの良いところを認め伸ばし自尊感情を育てていきたいです。
 - ・心にゆとりをもって、広い心で子どもたちに接していきたい。
-
- ・日々2次障害を起こしている子をつらい思いでみています。たくさんのヒントをいただきました。
 - ・今までぼんやり感じていた問題行動を起こす児童の行動や心情を明確に認識できました。
 - ・目からウロコです、もっと若い新任の時に聞きたかったです。
 - ・もっともっと勉強したいなと思いました。
-
- ・「忘れかけていたこと」や「忘れてしまっていたこと」などをもう一度見直す機会となった。教師自身に「ゆとり」がないと実践できないと思います。
 - ・教えられ恐怖症を避けるための方法をもっと知りたいです。
 - ・内容が多く、メモをとる前に、頭の中に入る前に次へ進んでいかれたのが残念でした。
 - ・部屋の照明が暗かったので、目が痛くなり、筆記するのがつらかったです。

第3部、桂 聖先生の講演についての感想・意見や反省点

(重複しているものは支部の責任でまとめさせていただきました)

- ・ 苦手だった国語、特に文学教材（物語）の指導法がわかりました。
 - ・ 教材研究の基本を学んだ気持ちです。「あれもこれも教えたい」というのは教師が何を教えたいのかわかっていないことになるのだと実感しました。
 - ・ 何度聞いても常に新鮮で、授業作りのヒントをいただきました。
-
- ・ フリートークを取り入れたい。
 - ・ クイズトークさっそくやってみたい。
 - ・ 毎回すぐ役に立つ提案があって、本当に研修会に参加してよかったと思う。
 - ・ 焦点化の事例紹介は、光村（教科書）を使いこなすのに活かされていくと思った。
-
- ・ 国語の授業で何を学ばせたいのか焦点化することに心がけていきたい。
 - ・ 教師のはたらきかけ次第で、子どもの学びが大きくかわると実感した。
 - ・ 教え込みをしない、ワンパターン化しない、など大いに反省させられました。
 - ・ 「子どもたちの経験の交流によって共感できる」の一言が印象に残りました。
-
- ・ 学級の間人間関係を深めていくことが学びの場で大切であることを再認識しました。
 - ・ 個別化の指導の配慮のところをもっと聞きたかった。
 - ・ もっともっと色々知りたいことが出てきて、課題がたくさん見つかりました。
 - ・ 桂先生の本を買って勉強します。
 - ・ 時間が足りなくなってしまう残念でした。もっと時間をとってもらえませんか？

その他の感想・意見

(重複しているものは支部の責任でまとめさせていただきました)

- ・いろいろ実践してみると、質問事項も出てくると思うので、やってみます。
 - ・大学生ですが、教育実習を振り返りながら実際にやってみたいと思う実践ばかりでした。
 - ・ノート指導の方も聞きたかったです。8月18日の全国大会にも参加します。
 - ・「伝える」ことが大切であることは池上彰氏も解いてみえますが、「バリアフリー」と「ユニバーサルデザイン」は人類にとって欠かせないものですね。
-
- ・頭がいっぱい働きました。今後さまざまな場面に生かせると思います。貴重なお話をありがとうございました。
 - ・前回は勉強になりましたが、今回も更に勉強になり、夏休みの課題ができました。
 - ・もっと若い先生にもお知らせしたい気持ちになりました。
 - ・支援が必要な児童・生徒を授業の中でどのように参加させていくのかをもっと知りたいです。
-
- ・筑波の先生を含めて、ふだんはお会いできないような講師の先生方に愛知まで来ていただけてありがたいです。
 - ・また、参加したいです。
 - ・学んだことを少しでも授業でいかしていきたいです。
 - ・校長や市教委のリーダーシップによって学校の取り組み方がかわってくる。次代のことを考えて個々の先生の工夫や努力が児童・生徒にうまく反映されるようにトップは目を向けるべきだと思う。
-
- ・川上先生、タンDEM歩行以外のボディイメージをもたせるためのトレーニング法があったら教えてください。
 - ・UDで行う「詩の指導方法」が知りたいです。